

「首都圏等スタートアップ支援ネットワーク構築業務募集要項」等に対する質問回答

| NO | 質問項目 | 質問 | 回答 |
|----|--|---|---|
| 1 | 仕様書 ■ 数値目標 ・本事業におけるスタートアップとVCとのネットワーク構築数：計10者 | 2024年3月までに既に仙台市様が接点を持たれているVCがあられることと思います。ここでKPIにカウントされるVCは、どのような基準になられますでしょうか？（例、今までに接点のないVC、VCとしては接点はあるが投資担当者という点では新規接点者。もしくはイベント等に参加したVC） | 本事業で実施するイベントや伴走支援等に参加いただくVCの数を指します。業務開始前まで本市とネットワークのあるVCについても、ネットワーク構築数としてカウントいただいて構いませんが、イベントや伴走支援に参加するスタートアップの事業領域に親和性があり、マッチングすることでその後のスタートアップとの継続的な関係構築が期待できるようなVCを本事業に巻き込んでいただくことを前提とします。 |
| 2 | 仕様書3.(2) 首都圏でのマッチング及び交流イベントの開催 | (1) メンターズボックスの対象者の定義をご教示ください。（どのような方を集客する必要があるのか理解したく、ご共有をお願いします。） (2) 本業務でメンターズボックスの方に対して相談、依頼が発生した場合は、本業務予算から費用を捻出する必要がない認識で良いでしょうか？ | (1) メンターズボックスは、首都圏等で活躍されているスタートアップ経営者やVC等の支援者で、仙台・東北の起業希望者やスタートアップからの個別相談（事業の壁打ち、事業課題に対するアドバイス等）に対応できる人材を指します。 (2) メンターズボックスに対する費用については、伴走支援における謝金やイベントへの登壇費用等、本事業に直接的に係る費用を除いて、原則別途実施する仙台スタートアップスタジオ推進事業から支払うことを前提といたします。 |
| 3 | 仕様書3.(3) スタートアップに対するCXO人材獲得・資金調達の伴走支援の実施 | 本施策によって支援するスタートアップの基準が明確にございましたらご教示ください。支援対象者の募集・選出方法は受託者が提案する認識で良いか、仙台市様で決定している支援対象者がいるのか、ほか制約等はあるか（特に、オープンに公募を行う必要があるのかを教えてください）※公募を行う場合は、告知用の企画設計等の予算が必要なためです。 | 伴走支援を行うスタートアップ・研究者・起業希望者(以下、支援対象者と呼ぶ)の募集・選出方法は受託者にご提案いただき、本市と協議の上、決定いたします。現時点で本市で支援を決定している支援対象者はございません。そのため支援対象者については、オープンに公募を行っていただくことが原則となります。 |
| 4 | 仕様書3.(4) 東北のスタートアップ・スタートアップ支援者へのインタビュー記事作成 | 別事業で委嘱する「仙台市スタートアップ支援スーパーバイザー」の経費は、本事業では負担しない認識で良いでしょうか？ | ご認識の通りでございます。当該経費は仙台スタートアップスタジオ推進事業より仙台市スタートアップ支援スーパーバイザーへ支払われます。 |
| 5 | 仕様書3.(5) 首都圏等 VC の招聘イベント実施 | 本件の参加者数は「・本事業におけるマッチング及び交流イベントの参加者数：計300名程度」に含まれる認識で良いでしょうか？ | ご認識の通りでございます。 |